

<すすんで学ぶ子を育む「たちのスタイル」>

子供主体の探究型の単元構想を「たちのスタイル」とし、日々の授業においても共通実践として取り組んでいく。単元全体を見通して、探究のプロセスをどのように行うか組み立てる。

(例) に挙げられるように、いろいろな単元の組み立てが考えられる。

単元全体で、探究のプロセスを行うスタイル (例)	単元の中で、一斉授業と、子供に委ねる探究の授業を組み合わせるスタイル (例)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">課題の設定</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">情報の収集</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">整理・分析</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まとめ・表現</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">一斉授業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">探究型授業</div> </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">× サイクル</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">一斉授業</div>

つきたい力、ねらいを達成した姿を明確にもつ (共通の軸)

生徒指導の
4つの視点

課題の設定 (見つけよう)

- ・ 問いをもつ
「なぜ?」「どうして?」
- ・ 解決の見通しをもつ
「どうやったら?」

問題発見・解決能力

問いが生まれる手立て

解決の見通しをもたせる手立て

自己決定の
場を提供

情報の収集 (集めよう)

- 「何を?」「どこから?」
- 叙述に線を引く 引用する
- 付箋に書く キーワード

現代的な諸課題に対して求められる資質・能力

- ・ 知的財産を守るための引用しかた 辞典の使い方 等

情報活用能力

学習環境や場の設定

学びの見取りと個に応じた手立て

協働的な学びが生まれる手立て

児童が整理、分析できる手立て

自己存在感の
感受を促進

共感的な人間
関係の育成

話す・聴く
反応する

整理・分析 (考えよう)

- 「くらべると」「つなげると」
- 「どうしてかという...」
- ・ 仲間分けや順番、順位づけ
- ・ グラフや表、思考ツール
- ・ 共通点や異なる点を見つける
- ・ 理由を考える
- ・ 経験や他の情報と関連付ける

言語能力

まとめを自分の言葉で表現するための手立て

学びの変容を自覚できるふりかえりの場の設定

安全・安心な
風土の醸成

まとめ・表現 (表そう)

- ・ 問いに対して正しくまとめる
- ・ 視点をもったふりかえり
- ・ 相手や目的に応じた表現
「だれに?」「どのように?」